

親と子が共に育つ「一日保育士体験」

施策のポイント

保育士の仕事を一日体験することにより、あらたな子どもの姿を発見し「親」としての役割と責任を実感する。

自治体情報

東京都品川区

人口 / 349,829人

標準財政規模 / 92,403,204千円

担当課 子ども未来事業部子育て支援課

電話番号 直通03-5742-6720 代表03-3777-1111 内線5352

実施主体 品川区

関連ホームページ <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000011100/hpg000011037.htm>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

無心に遊ぶ幼児や児童を眺めることで、「子を産み育てる幸せ」を感じることができる。

保育園では保育参観、保育参加などを実施し、子どもの生活と遊び学びを見ながら、わが子だけではなくすべての子どもを客観的に見ることが出来る機会を設定してきた。

しかし、親の子育てに対する意識の向上やスキルアップには十分ではないというのが実態であった。

そこで、保育参観、保育参加をさらに一歩進め、保護者が「一日保育士」を体験する事業を実施することとした。我が子以外の大勢の子どもとふれあうことで、育児に対する視野が広がり、家庭でのしつけを見直す良い機会にもなる。また、保育士は、保育内容を保護者に分かりやすく説明することで、自らの保育を振り返るとともに、技量を磨く機会ともなる。

保護者と保育士がともに子どもの育ちを理解することで、相互の信頼関係がさらに深まり、子どもにとってより豊かな成育環境を築くことができる。

2 取り組みの具体的内容

保護者が自分の子どものクラスに入り、子どもの生活（給食・おやつ含む）や遊びの実体験をする。共通のルールを守り、一日のプログラムを参考に一日保育士として保育を行う。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

公立保育園 39園、公立幼稚園 9園の全クラスで実施する。

4 現在までの実績・成果

平成21年度7月より試行実施

実績：実施園数 保育園 27、幼稚園 1 参加人数 227人（母親 185人、父親 42人）

成果：家でのわが子とは違う子どもの姿を見たり、他の子を保育する過程でたくさんの気づきがあり、保育士の姿から学ぶことも多いと大変好評であった。また、工夫された給食やおやつも家庭で活かせるものであり、子育て環境の改善、保育園と保護者の信頼関係づくりにも役立った。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

従来の保育参観、保育参加とは違い、1日8時間を通した体験がなぜ必要であるのか、保護者に理解してもらう必要があった。

6 今後の展開と課題

日頃の保護者と園との関係が、一日保育士体験への参加の多寡に関わっている。
21年度の実施状況、成果を冊子にまとめ、全園に配布し、目標の全園での実施を目指す。

平成21年7月1日 事業部長決定	
保育園利用保護者による一日保育士体験実施要項	
<目的>	
保育士の仕事を一日体験することにより、あらたな子どもの姿を発見し、「親」としての役割と責任を実感する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して子育ての楽しさを知る ・保育園とのかかわりや子どもに対する相互理解を深める ・保育士としての1日の仕事内容を知る ・保育に関わることで、集団の中でわが子を客観的に見る ・保育士の資質向上の機会とする ・保育園と保護者との信頼関係を深める 	
<場所>	
品川区立保育園	
<日程>	
品川区立保育所条例施行規則第2条に定める休園日および土曜日を除く年度内の一日	
午前8時30分から午後5時まで（8時間）	
<対象>	
品川区立保育園に子どもを預けている保護者	
<申込み方法>	
在園している保育園へ、体験を希望する10日前までに申込書にて申し込む。	
<所要経費>	
保護者から給食費等の徴収は行わない（無料）。	

予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
2,445 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,445 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：一日保育士実施要項